

**第35回日本保健福祉学会学術集会**  
**災害救援者のコミュニティ・メンタルヘルス・サポート・システム構築に向けて**  
**—スピリチュアリティを含めた支援を中心に—**

災害救援者は、救援活動に従事する中で、複雑な心理社会的影響を受けることがあります。このような場合、どのようなサポートが有効なのか。災害救援者特有の職業意識や組織的風土を踏まえて、支援のあり方を多面的に探ります。災害が多発化、大規模化する中で重要なテーマです。多くのご参加をお待ちしています。

○開催期日・会場

期 日 令和4(2022)年10月1日(土) 9時30分～17時30分

会 場 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学瀬田キャンパス(8号館他)

○大会長

栗田修司(龍谷大学社会学部教授)

○協力機関

大津市消防局

○プログラム

開場	8時30分			
開会式	9時30分	主催者挨拶	学会長挨拶	安梅勅江(筑波大学教授)
			大会長挨拶	栗田修司(龍谷大学教授)
	9時40分	来賓挨拶	龍谷大学学長	入澤 崇
			大津市消防局長	山川真也
基調講演	9時55分	Pierre-André Kuchen (Chef adjoint Care Team du canton de Berne) 仮題『"Psychosocial, psychological and spiritual support for people involved in a potentially traumatic event, presentation of the interventions of the Care Team of the Canton of Bern".』		
一般演題発表	11時00分	(口述発表別途募集)		
昼食	12時30分	(理事会開催)		
総会	13時30分			
特別講演	14時05分	笹川真紀子(日本消防ピアカウンセラー協会 副理事長 精神保健福祉士) 仮題『消防職員のストレスケアとピアサポート～日本とアメリカの現場から』		
休憩	(15時05分～15時15分)			
シンポジウム	15時15分	テーマ「消防職員の惨事ストレス」 シンポジスト ※調整中(大津市消防局救急隊員・救急救命士) 三上民喜(龍谷大学大学院・元湖南広域消防局長) 暇 素代(大和大学教授) コメンテーター 諫山憲司(明治国際医療大学教授) コーディネーター 児玉龍治(龍谷大学教授)		
閉会式	17時00分	優秀発表者表彰 2023年度大会長挨拶 矢藤優子(立命館大学教授)		

○一般演題の募集期間

募集期間 令和4（2022）年6月15日（水）～8月16日（火）【締切厳守】

※詳細は、6月15日（水）から運用する第35回学術集会HPをご覧ください。

専用ホームページ <https://c22r503.wixsite.com/my-site-1>

○会場までのアクセス

JR琵琶湖線「瀬田」駅下車 帝産バス約8分

名神高速道路 京都方面より瀬田西ICから約5分 / 東京方面より草津田上ICから約5分

☆ 琵琶湖、自然、歴史、滋賀の魅力を感じる旅 この機会に是非、足をお運びください。

滋賀県公式観光PR動画

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/317237.html>

**第35回日本保健福祉学会学術集会実行委員会**

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町1-5

龍谷大学社会学部栗田研究室内

実行委員長 三上民喜

E-mail : [hw35cf.contact@gmail.com](mailto:hw35cf.contact@gmail.com)